

2017年11月1日  
丸紅パワーシステムズ株式会社

ミャンマー電力発電公社よりタケタ複合火力発電所改修案件を受注

丸紅パワーシステムズ株式会社（代表取締役社長：室家 健、以下、「MPSC」）は、ミャンマー電力発電公社（Electric Power Generation Enterprise、以下、「EPGE」）よりタケタ複合火力発電所改修案件（以下、「本プロジェクト」）を受注し、10月31日に契約を締結しました。改修後の出力は約 66MW、受注金額は約 25 億円です。本プロジェクトの資金は日本政府の円借款によって賄われ、2016年4月のミャンマー政権移管後、電力セクターにおいて初めて締結された円借款契約となります。

本プロジェクトは、ヤンゴン市内のタケタ地区に位置するタケタ複合火力発電所（既存発電所の出力：現状約 24MW）のガスタービン及びガスタービン発電機を改修し、より高い出力・効率を実現するものです。MPSC は、設計・調達から据付工事、試運転までを請け負い、2019年10月の完工を予定しています。ガスタービン関連パーツは General Electric International, Inc 社（米）及び GE Global Parts & Products GmbH 社（スイス）より、ガスタービン発電機関連パーツは三菱日立パワーシステムズ株式会社より調達する予定です。

タケタ複合火力発電所は、丸紅株式会社（以下、「丸紅」）が 1990 年に先ずガスタービン単体の天然ガス焼き発電所として建設し、1997年に排熱回収ボイラー、蒸気タービン及び発電機を加え、複合火力化を請け負った発電所です。本プロジェクトは、ガスタービン及び発電機をそれぞれ改修し、最新の技術を活用することでより多くの出力（ガスタービン単体3基合計：約 66MW）を確保するものです。

MPSC は丸紅と共にミャンマーで数多くの発電所を建設した実績を活かし、今後もミャンマーの安定した電力供給に貢献していきます。

以 上

<EPGE 概要>

会社名 : Electric Power Generation Enterprise  
設立 : 2016 年 4 月  
代表者 : Mr. Khin Maung Win  
沿革 : 2016 年 4 月に発足したミャンマー新政府の下、電力省とエネルギー省が合併し、電力エネルギー省を設立。同省の下、電力発電公社として、設立された。

<案件概要>

案件名 : タケタ火力発電所改修案件  
客先 : EPGE  
資金 : 日本政府円借款  
プラント構成 : ガス火力発電所改修工事契約一式  
(ガスタービン及び発電機各 3 基、改修後合計出力:約 66MW)  
受注金額 : 約 25 億円  
建設予定地 : ヤンゴン市内タケタ地区

<地図>

